

デマンド型交通の実証実験について

1 デマンド型交通導入検討の目的

本町においては、高齢化率22.5%（令和2年7月末時点）と超高齢社会となっており、障がい者手帳所持数についても年々増加傾向。

また、高齢者の交通事故等についても社会問題となっており、運転免許証返納者について今後増加すると推測。



バス停まで移動することが困難な人への対応が必要

このような人に対応する手法として、デマンド型交通導入の検討を実施。検討に当たっては、バスの利用や費用対効果など、実際の導入を見据えて総合的な事情を勘案。



効率的効果的な公共交通体系

2 実証実験について

(1) 目的

- ・ デマンド型交通について体験する機会を提供し周知。
- ・ 必要なデータを取得するために実証実験を複数段階に分けて検証。

(2) 各実証実験の目的及びスケジュール（案）（準備・検証期間含む）

	第1期	第2期	第3期
実験期間	R2. 11～R3. 3	R3. 4～R3. 8	R3. 9～R3. 12
目的	<ul style="list-style-type: none">・ デマンド型交通を町民に周知・ 需要や課題の把握	<ul style="list-style-type: none">・ 需要や課題の把握・ 他の公共交通への影響の把握	移動弱者の利便性向上に資するか、効率的効果的な新たな公共交通体系として有効か検証
概要	<ul style="list-style-type: none">・ 1月ごとにモニターを募り、町内全域で実施・ 周知が大きな目的であるため、町内でのみの運行	第1期実験で把握した需要や課題を整理し、実装に向けた実験を実施	第2期実験で把握した需要や課題を整理し、実装に向けた実験を実施

3 第 1 期実証実験について

(1) 目的

「デマンド型交通」を町民に知ってもらうとともに、利用した上で意見をいただくことで、本町におけるデマンド型交通の需要や課題を把握。

(2) 概要

令和 2 年 1 2 月から 2 月の期間（新型コロナウイルスの状況により変更の可能性あり）で、全地区からモニターを募りアンケート調査を実施。

	1 2 月	1 月	2 月
対象エリア	町北部（諸輪、諸輪住宅、御岳、白鳥、押草団地南、押草団地北）	町中部（和合ヶ丘、和合、北山台、白土、西白土）	町南部（傍示本、春木台、祐福寺、部田山、清水、部田）
対象者	75 歳以上の方、障がい者の方、前述の付添人 1 名 事前登録制（モニター募集）		
利用可能回数	2 回／人		
車両	乗車定員 10 人以下のジャンボタクシー 2 台		
乗降車場所	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者自宅前 ・ 町内 公共施設、病院、診療所、薬局、スーパー、バスターミナル 		
料金	無料		
運行日	平日（土日祝日及び年末年始以外の日）		
運行時間	午前 9 時から午後 3 時		
費用負担	実走による		

4 各実証実験後の方針について

各実証実験終了後、利用状況や利用者アンケートの意見を集約し、町民の需要及び運行する上での課題を把握。その結果に基づき、対象エリアや乗降場所、料金等、次期の実証実験の方針について検討。

約 1 年を目途に、本町のデマンド型交通の仕組みを形成するとともに、バスのあり方について検討。